

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 あみやき亭  
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 佐藤 啓介  
 (氏名) 千々和 康  
 配当支払開始予定日

TEL 0568-32-8800  
 平成21年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,101	4.5	847	30.0	874	26.9	476	48.9
21年3月期第2四半期	7,751	—	651	—	689	—	320	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6,963.46	—
21年3月期第2四半期	4,675.49	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	11,863	10,067	84.9	146,995.09
21年3月期	11,521	9,676	84.0	141,287.91

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,067百万円 21年3月期 9,676百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
22年3月期	—	1,500.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	9.0	1,380	5.9	1,410	3.1	692	4.3	10,103.96

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 68,488株 21年3月期 68,488株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 68,488株 21年3月期第2四半期 68,488株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たって注意事項について、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整が一段落し、一部に回復の兆しが見えるものの、急激な円高の進行などを背景とした企業業績の悪化や雇用情勢の低迷など、先行き不安が払拭できない状況が続いております。

当業界におきましては、ボーナスカットなどによる所得不安や雇用への先行き不安感から消費者の生活防衛意識の高まりによる外食を手控える傾向が一段と鮮明になり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社では、焼肉部門におきましては、お客様に価値感・満足感を感じていただける商品の品質向上に努めるとともに、お客様の嗜好に対応するメニュー開発を行い、また、TVCMなど積極的な販促活動を展開いたしました。

焼鳥部門におきまして、焼き師認定制度を導入し、炭火で1本1本手焼きする「焼き」の技術向上に努め、美味しい焼鳥の提供と女性・ファミリー層をターゲットとした季節の旬にこだわった釜めしの提供に努めてまいりました。

また、店舗運営力向上策といたしまして、あみやき亭大学・美濃路大学の店長養成講座のカリキュラムを刷新するとともに、パート・アルバイトの複数ポジションを習得させる多能工化を推進するなど従業員教育への取組を行ってまいりました。

店舗数につきましては、あみやき亭4店舗（瑞浪店、三鷹中原店、川崎駅東口店、環八成城店）、美濃路1店舗（四日市富洲原店）を新規に出店し、総店舗数は、135店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高は、8,101百万円（前期比4.5%増）、損益面におきましては、粗利改善並びに人件費等販売管理費の削減効果により営業利益847百万円（前期比30.0%増）、経常利益874百万円（前期比26.9%増）、四半期純利益476百万円（前期比48.9%増）となり、売上高・営業利益・経常利益は、第2四半期累計期間としては、過去最高となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産額は118億63百万円となり、前事業年度末と比較し3億41百万円増加致しました。負債総額は17億96百万円となり、前事業年度と比較し、49百万円減少いたしました。

主な要因は未払金の減少によるものであります。

純資産総額は、100億67百万円となり、前事業年度末と比較し、3億90百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2億57百万円増加し、当第2四半期末には、21億18百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、8億45百万円となりました。

これは主に、税引前当期純利益が8億60百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、5億2百万円となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が4億34百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、85百万円となりました。

これは主に、配当金の支払額が85百万円あったこと等を反映したものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績予想との差異が生じましたが、平成21年4月9日に公表いたしました通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

詳細は、平成21年10月9日付「業績予想（平成22年3月期第2四半期累計期間）との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,588	3,815
有価証券	—	1,500
商品及び製品	28	26
原材料及び貯蔵品	20	14
前払費用	140	111
繰延税金資産	87	74
その他	55	82
流動資産合計	5,921	5,626
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,716	3,648
構築物(純額)	352	355
機械及び装置(純額)	160	163
車両運搬具(純額)	7	10
工具、器具及び備品(純額)	196	201
土地	121	121
建設仮勘定	13	87
有形固定資産合計	4,567	4,589
無形固定資産		
投資その他の資産	51	48
投資有価証券	10	10
長期貸付金	243	229
長期前払費用	188	188
繰延税金資産	113	104
差入保証金	594	570
保険積立金	173	154
投資その他の資産合計	1,322	1,257
固定資産合計	5,942	5,895
資産合計	11,863	11,521

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	472	527
未払金及び未払費用	616	798
未払法人税等	423	263
未払消費税等	71	73
預り金	43	38
引当金	108	81
前受収益	7	21
その他	30	26
流動負債合計	1,772	1,830
固定負債		
長期リース資産減損勘定	14	14
その他	8	—
固定負債合計	23	14
負債合計	1,796	1,845
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	5,167	4,776
株主資本合計	10,068	9,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
評価・換算差額等合計	△1	△0
純資産合計	10,067	9,676
負債純資産合計	11,863	11,521

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,751	8,101
売上原価	2,962	3,026
売上総利益	4,789	5,074
販売費及び一般管理費	4,137	4,227
営業利益	651	847
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	13
協賛金収入	9	9
違約金収入	8	—
雑収入	1	3
営業外収益合計	37	27
経常利益	689	874
特別利益		
受取保険金	11	0
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
前期損益修正損	14	—
固定資産除却損	19	15
減損損失	89	—
特別損失合計	122	15
税引前四半期純利益	577	860
法人税、住民税及び事業税	301	405
法人税等調整額	△44	△21
法人税等合計	257	383
四半期純利益	320	476

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	577	860
減価償却費	287	287
引当金の増減額 (△は減少)	26	27
有形固定資産除却損	19	15
減損損失	89	—
受取利息及び受取配当金	△17	△13
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4	△7
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△39	△25
仕入債務の増減額 (△は減少)	△62	△54
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△37	△10
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21	△2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14	△6
その他	△20	△17
小計	792	1,051
利息及び配当金の受取額	14	19
法人税等の支払額	△370	△225
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	—	1,500
定期預金の預入による支出	△2,500	△4,500
定期預金の払戻による収入	2,500	3,000
有形固定資産の取得による支出	△522	△434
有形固定資産の売却による収入	—	1
有形固定資産の除却による支出	—	△3
無形固定資産の取得による支出	△7	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	—
差入保証金の差入による支出	△17	△34
差入保証金の回収による収入	—	10
貸付けによる支出	—	△22
貸付金の回収による収入	8	11
その他	△26	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△566	△502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△102	△85
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△231	257
現金及び現金同等物の期首残高	1,691	1,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,459	2,118



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。